

津久井の木でつくった
4軒の現代民家

創和の自然住宅

「風のいえ・プロジェクト」全棟完成!

全棟の家並み見学会 & 最終棟の完成見学会 [内覧会]

2013年 3月23日(土) 10:00~16:00



4棟からなるこの「風のいえ」は、どういう訳か一列に並んでいません。それは、「光と風の通り道」としてあえて空けているのです。どの家もなるべく冷暖房に頼らないよう、自然エネルギーを積極的に取り入れた「エコ」に配慮し、やがては土に還る体に優しい自然素材を利用しています。地元・津久井の山の約1000本の間伐材を使った家々は、庭や菜園に囲まれて、やわらかな佇まいの家並みへと広がりました。構想から3年、「風のいえ」の完成をどうぞご覧ください。

※「地熱利用の家」、「小舞・土壁の家」、「木と土と太陽の家」は外観のみの見学となります。お間違えのないようにご注意ください。

vol.1 「地熱利用の家」



設計者
池辺 潤一
(Studioikb+)

「風のいえプロジェクト」いい名称ですね。私がここで目指したのは、人の棲(すみか)です。生き物としての「ヒト」がその環境にできるだけ負荷をかけることなく自立的で、健やかで、心地よい空気が流れる家をつくることでした。



vol.4 「土間のある家」 完成見学会 [内覧会] 10:00~16:00 (13:30~14:00 設計者:山田氏のお話)



設計者
山田 貴宏
(ビオフォルム環境デザイン室)

地の杉、檜を使用した木組みの家。お子さんがのびのびと育つよう、吹抜け空間を中心とした開放的なつくりをしました。玄関兼用の土間は趣味の陶芸や農的暮らしのために。多様な暮らし方ができるように各所に回遊動線を確保しました。断熱、太陽熱集熱技術でパッシブな住まいです。

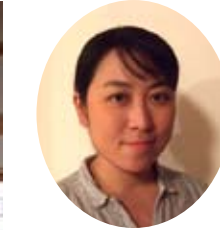
vol.2 「小舞・土壁の家」



設計者
山田 貴宏
(ビオフォルム環境デザイン室)

地元の地産地消の杉、檜材を使った伝統的な土壁の家です。土壁の蓄熱性と太陽熱集熱と通風をうまく組み合わせ、冬は温か、夏は比較的涼しい住環境に。外部の菜園や植物棚、雨水利用等の設計も行い総合的な住環境デザインを実現しました。

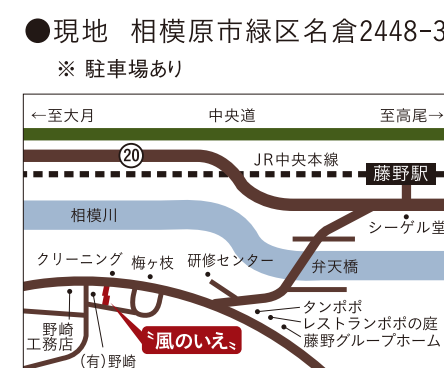
vol.3 「木と土と太陽の家」



設計者
榎 麻里
(きなり舎)

あたかもずっとそこにあったように、景観に馴染むやさしい佇まい。昔からの日本の家づくりに学びつつ、新しい技術や考え方も取り入れて、どこか懐かしい雰囲気のある、心地よい住まいができました。

便利であることと心地よいことは、同じよう過ぎてまったく違っています。心地よさの中には「ひと手間」という、少しだけ面倒なことが存在します。「風のいえ」の住人の皆さんは、迷わず後者を選んだようです。



施工者の想い



志村敏夫
(創和建设)

構想から3年、この「土間のある家」の完成をもって「風のいえプロジェクト」は幕を閉じます。関わった3名の建築家、そしてなにより4世帯の住まいての皆さん、ご近所の皆さん、参加された職人さん。皆さんのおかげをもって、私たちが思い描いていたものより数段すばらしいものになりました。とてもいい景観です。長い間、ありがとうございました。

「風のいえ・プロジェクト」で腕を振るった大工さんたち



お問合せ 創和建设株式会社 Tel.042-687-6400(代) <http://www.sowa-tm.jp> (担当:小俣・岡部)